

木津川上流域の市町村長を対象に 『浸水避難に関する意見交換会』を実施

— 木津川上流河川事務所 —

先般の平成27年9月関東・東北豪雨により、各地において浸水被害等が発生しており、特に鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市では、甚大な被害が生じました。

この水害を受け、洪水時における各機関からの情報提供や地方公共団体による避難勧告発令のタイミングなどについて意見を行い、水害に強い木津川上流域を目指すべく、流域沿河市町村の首長を対象とした『木津川上流域での浸水避難に関する意見交換会』を開催しました。

概要

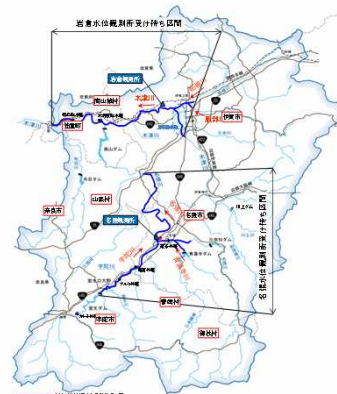
対象河川：淀川水系木津川、服部川、柘植川、名張川、宇陀川、青蓮寺川

- 開催日時：11月4日（水）14:00～15:00
- 開催場所：伊賀市役所（本庁舎）2階 委員会室
- 参加機関：伊賀市、名張市、山添村、奈良市、宇陀市、笠置町、
南山城村、三重県、奈良県、京都府、津地方気象台、
国土地理院、水資源機構木津川ダム総合管理所、
近畿地方整備局河川部、淀川ダム統合同管理事務所、
木津川上流河川事務所
- 主催：木津川上流河川事務所、木津川上流直轄改修促進期成同盟会



【確認内容】

- (1) 鬼怒川の水害と市民避難について・意見交換会の背景
- (2) 洪水予報について
- (3) 木津川上流管内の主な危険箇所
- (4) タイムラインの運用について
- (5) 木津川ダム群の操作について
- (6) ハザードマップポータルサイトについて
- (7) 来年度出水期までの進め方について
- (8) 意見交換



首長が避難勧告発令の目安となる「氾濫危険水位」など河川管理者が出す情報の活用を確認した上で、こうした情報が出るまでの連絡を密に取り合うことや、水防上重要な区間について、現場のパトロールや河川管理用カメラ、水位計などで状況をリアルタイムで把握し、ホットラインで伝えることなど、市町村との情報のやりとりを強化していくことを確認しました。

<首長からの主なご意見>

- 水文情報の問題点について情報提供がなされた。
- 出水時に河川事務所等より情報もらったおかげで、
余裕をもって避難勧告等の発令が出せた。
- 防災訓練では住民の8割が参加した。
- 関係機関を交えて勉強会を開催している。
- 各地区の自主防災が機能している。
- 住民も早めに避難する体制が整えられてきていると感じている。
- 直轄河川の改修を計画的に着実に実施して欲しい。



首長との意見交換の様子

報道

以下の報道機関に記事等を取り上げられました。

- 伊賀タウン情報YOU 11月4日（水）ネット版
- 毎日新聞 11月5日（木）朝刊（地方版）
- 読売新聞 11月5日（木）朝刊（地方版）

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
木津川上流河川事務所調査課
〒518-0723
三重県名張市木屋町812-1
TEL 0595-63-11611

